

羅 針 盤					
評価対象	評価項目	学校自己評価※	学校運営協議会	学校関係者よりいただいたご意見	改善策
I 保護者との連携	1 学年・学級便り等で、学校や児童の様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	A	A	・各種通信を通して学校の様子が家庭によく伝わっていると思う。コロナで不安な中、保護者の学校への信頼につながると思う。 ・学校通信「みのり」で保育園や公民館、地域の方も学校の活動の様子がよく分かる。 ○学校通信「みのり」、「コミュニティスクールだより」をHPに掲載しより多くの方に九小の活動を知っていただけたらどうか。	○文字を大きくして読みやすいようにレイアウトを考え、学校だよりを始め、学校から出す通信を中心に、学校の様子を詳しく伝えていく。
	2 学校は保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境を作っていますか。	A	A	・事前に懇談会で話し合う内容を伝えるのは効果的 ・保護者の方の話を聞くと、参加しやすく話しやすいとのことでした。	○事前に懇談会で話し合う内容を伝えておく。
	3 保護者は、学校に連絡や相談がしやすいと思っていますか。	A	A		○児童の改善すべき点については躊躇なく家庭に伝えるようにするとともに、保護者が相談しやすい関係を築くようにする。 ○教師のふだんの姿勢、表情で、こちらの意志を示していく。
II 確かな学力	4 子供は、授業が分かり、満足感や達成感を味わっていますか。	A	A	・12月9日2年生生活科の授業において熱心に聞いてもらい家でもその内容について話し合った児童が半数以上いたことから、達成感を味わっていると思う。	○スモールステップで授業を行いつつ、理解が不十分な児童には個別に補充指導をしていく。
	5 子供に、教科などの基礎・基本が確実に身に付いていますか。	A	A		○問題の解き方についても授業や補充指導の中で行っていく。
	6 児童は進んで学習したり読書したりする習慣が身に付いていますか。	A	A	・学習の習慣化は素晴らしい ・家庭学習に積極的に取り組む児童の育成は今後も重要になる。読書も併せて今後も力を入れてください。 ・1月28日公民館学習の際、2年生児童がいろいろな質問をしていたので、積極性が感じられた。 ○20%の方が何かしらの問題を抱えているので工夫が必要では？	○家庭学習集中期間が始まった次の日あたりに全員が取り組んだ物を机の上に出させ、よさを共有したり、取り組む内容に悩んでいる児童のお手本となるようにする。また、授業の中でも今後も自主学習すべき内容を紹介していく。 ○家庭学習集中期間中に取り組みの様子を振り返ることができるような声かけをし、児童が進捗状況を自分で把握することができるようにする。必要に応じて個別支援をする。 ○授業と関連した本を紹介したり、チャレンジ100冊を活用したりして、進んで本を読むように声をかける。また、読書に関する自主学習を頑張っている児童を紹介したり、内容を掲示したりして、進んで取り組めるようにする。 ○保護者に対しても、懇談会、連絡帳、家庭学習カード等で児童の取り組みについて、詳しく説明する。 ○集中期間が終わったらふり返りをして、励ましや賞賛の言葉をかけるようにする。また、日常的に家庭学習をがんばっている児童を紹介する。
III 豊かな心	7 児童は進んであいさつしたり、時と場をわきまえた行動をしたりすることができていますか。	A	B	・下校時に巡回している際に、手を振って挨拶してくれている。 ・学校で会うと「こんにちは」など先に声を掛けられることが多い。 ・登下校時に子ども達が自分から挨拶できるのでよい習慣が身に付いている。 ・地域の人に挨拶が十分にできているとはいえないと思う。 ○常に周りに感謝を込めたものになるとよい。	○あいさつの大切さや金・銀・銅のあいさつについてクラスで再確認し、意識的にあいさつを行えている児童がいたら、褒めたり、紹介したりする。 ○児童会で金・銀・銅のあいさつについてポスターを作ったり、放送で呼びかけたりする。 ○あいさつ週間を設け、意識してできるようにする。
	8 児童は相手の立場や気持ちを考え、人に親切にしていますか。	A	A	・お手伝いをよくしてもらっています。	○学活などの時間に「よいところみつけ」のような一人一人のよさを認め合う学習を行う。
	9 学校ははじめの早期発見、早期対応に努め、児童の間に温かな人間関係を育てていますか。	A	A	・これからもいじめの早期発見、早期対応に努めるとともに未然防止につながる活動も積極的に取り入れられるとよいと思う。 ・通学時、みんな仲良く元気に登校している風景が見られ、いいです。 ・16%の児童が「楽しい」と答えていない。少し気になります。 ○いじめは「自分と違う」「人と違う」から始まると思う。生まれながらそれぞれ異なることを認め、違うことを話し合い、お互いをリスペクトできるとよいと思う。	○児童同士の関係作りを行い、一人一人が認められる温かい学級作りを行う。
	10 児童は、学校のきまりや約束を守って生活していますか。	A	A		○朝会の時などにきまりについて全校で確認していく。
IV 健康・体力	11 児童は食事や睡眠の意味と役割を理解し、規則正しい生活をしていますか。	A	A	○子ども達が十分な睡眠時間を確保できるかが大事。やがて昼夜逆転現象が起きる子もいると思うので、家庭での注意、指導が必要。	○早寝早起きの大切さを学年便りや学級便りで繰り返し啓発していく。 ○睡眠時間のことか、朝食のことか、「やや当てはまらない」理由を保護者に聞き、対応する。
	12 学校は児童の体力向上に努めていますか。	A	A	・体力は学力向上にもつながるのでぜひ継続してほしい。 ○運動が苦手な子が楽しく取り組める工夫ができればよい。	○子どもののびを認め、励ましながらい欲を継続させる。 ○リズム体操を継続して行っていくとともに、体育集会で楽しく手軽にできる運動を紹介し、児童の運動に対する意欲を高める。また、体育の授業において、友達と協働して運動する楽しさを味わえるような指導の工夫を行う。
V 安全確保・施設設備	13 学校は学校施設の安全管理を徹底していますか。	A	A		○現行の避難訓練を改善を図りながら、計画的に安全指導を行う。
	14 学校は、児童の安全を守るために、対策を講じていますか。	A	A	・ハッピーネットワークを活用した交通安全、防犯対策など地域との協力態勢がとれている。 ○交通安全については保護者、地域との連携を一層深めていけるとよい。 ○日常生活の中であらゆる場所での危険性をチェックし、事前に安全を確かめられるとよい。	○学活などの時間で、正しい通学路の歩き方など確認をして、安全意識を高めていく。
VI 進路・生き方	15 児童が自らの将来の夢や希望をもち、将来のことを考える機会を設けていますか。	A	A	○家庭での問題であるが、家で話し合えるツールがあればよいと思う。	○道徳や学活、総合の時間を活用し、将来について考えたことを学年通信などで、家庭に情報を発信したり家庭で話し合う呼びかけをする。
VII 組織運営	34 教育活動の必要な場面で、地域の教育力を効果的に活用していますか。	A	A	・地域との連携は素晴らしい。 ・公民館や地域の他団体とも連携して地域人材を確保していけるとよい。 ・渡瀬展覧会の九小の展示期間に九小米の販売を行った。子ども達の社会勉強と同時に地域の方々に子ども達が育てた米を食べていただくよい機会であった。	○コミスク関連年計を早期に作成し、全教員に配布、年計にも転記していく。 ○地域人材を活用する場面を年間を通して設定する。

学校自己評価※とは…保護者、児童、教員3者のアンケートをもとに学校が自己評価したものである

(学校関係者からのその他のご意見)  
 ・日頃の先生方のご活躍に感謝申し上げます。コロナ禍の中、何かと気苦労もあるかと思いますが、感染予防をしながら安全安心の日常が戻ることを祈念します。  
 ・学校内の日頃のことはほとんど分からないが、今年度、小学校教員志望者が減っていると報道されている。原因は分からないが、職員会議や校務分掌、その他様々なレポート、文書作りに追われているうちに、子ども達を教育するという部分が欠如しないかと老練心ながら心配している。少しでもゆとりのある学校生活となればと思う。また、洗剤とした若者達がたくさん教員を志望する日を期待したいと思う。  
 ・先生方はよく働いていると思う。これからも地域も連携して学びやすい環境を作っていければよいと思う。  
 ・評価はAだが、少数の中に問題が隠れている場合もあると思う。少数意見の中に問題点がないかアンテナを張っていきたい。  
 ・学校だより「みのり」や「コミュニティスクールだより」でコミュニティスクールとしての活動紹介ができていたので、保護者も分かりやすく、また、興味ももてると思う。今後も様々な活動を紹介していただけたらと思う。  
 ・今年度はコロナ禍のため例年どおりの活動ができなかったが、できる範囲での活動を工夫されていたと思う。次年度は小学校、保育園、地域の方を交えた世代間交流ができるとよいと思う。